

経営比較分析表

大分県 豊後大野市

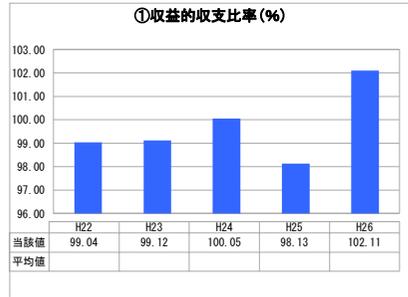
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 |
|------------|--------------|------------|---------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 特定地域生活排水処理 | K3 |
| 資金不足比率 (%) | 自己資本構成比率 (%) | 普及率 (%) | 有収率 (%) |
| - | 該当数値なし | 4.83 | 100.00 |

| 人口 (人) | 面積 (km ²) | 人口密度 (人/km ²) |
|-------------|---------------------------|--------------------------------|
| 38,643 | 603.14 | 64.07 |
| 処理区域内人口 (人) | 処理区域面積 (km ²) | 処理区域内人口密度 (人/km ²) |
| 1,850 | 18.09 | 102.27 |

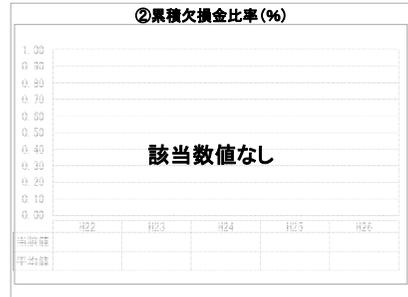
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

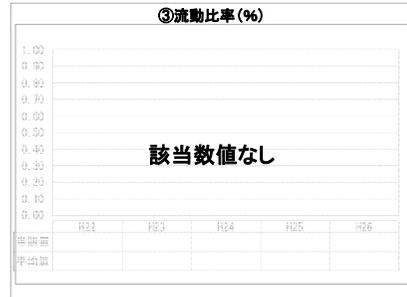
1. 経営の健全性・効率性



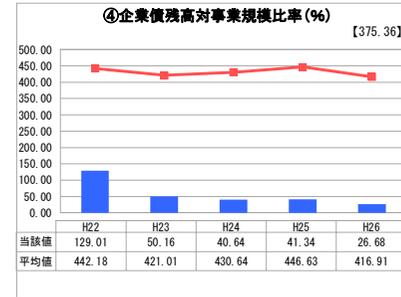
「単年度の収支」



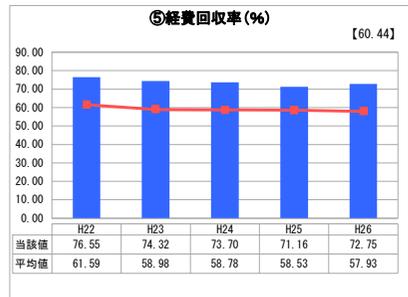
「累積欠損」



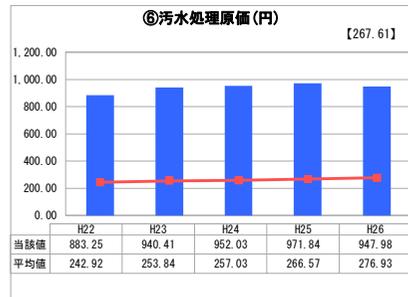
「支払能力」



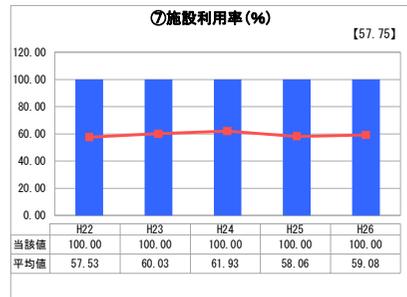
「債務残高」



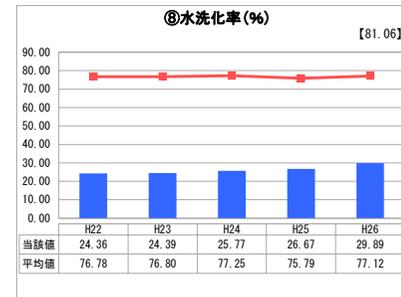
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

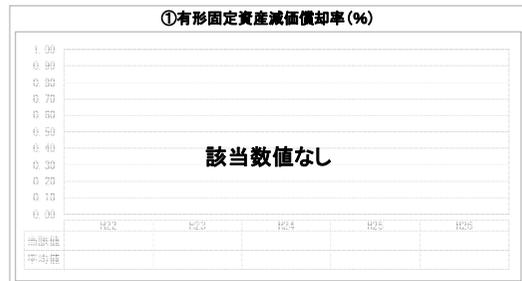


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

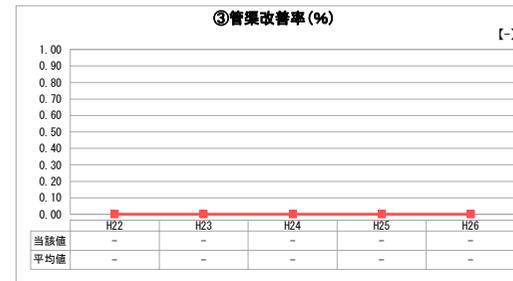
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は100%前後で推移しており、比較的健全な経営が出来ていると言える。
 企業債残高対事業規模比率については、類似団体と比較して著しく低いことから、企業債残高に対する一般会計の負担すべき金額が比較的大きいことも窺える。
 経費回収率については、類似団体と比較して上位で推移しているが減少傾向にあり、経年劣化や増税等の影響による維持管理費の増加がわかる。
 汚水処理原価については、国庫補助対象分のみで数値を算出しているため、表記上は実際の約3分の1の数値となっている。
 水洗化率についても同様に、国庫補助対象分のみで数値を算出しているため、表記上は実際の約3分の1になっている。
 これらを考慮すると「経営の健全化及び効率化」の指標は、類似団体のほぼ平均的な数値になる。
 ちなみに施設利用率については、個別処理であるため、100%となっている。

2. 老朽化の状況について

維持管理者による定期的な管理により、管渠改善率は0%である。

全体総括

今のところ類似団体と比較して平均的な経営ができている。今後も定期的な維持管理を行い、効率的な経営に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。